

# 新年のごあいさつ



合志市長  
大住 清昭

## 生活の質が高い 合志市をめざして

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平成18年2月27日に旧合志町と旧西合志町が合併し、合志市としてスタートしてから早くも3年目を迎えます。

市長就任からこの間、合志西合志二町合併協議会で策定しました合志市建設計画をベースに、皆さまに対する私の約束であります「マネーフェスト」を加味しながら、それぞれの事務事業を進めてきました。特に行政改革大綱や集中改革プランの策定、そして市民に開かれた行政を目指すため行政評価システムと連動した合志市総合計画の策定などを進めてきました。

重点施策としては、◎子育て支援日

本一のまちづくり◎県道大津植木線バイパスの整備◎国道387号線の御代志周辺整備◎北熊本サービスエリア近くのスマートインターチェンジの建設推進◎LRT化と都心結節◎第3テクノパークの整備◎バイオフォレスト構想の推進◎中九州横断道路熊本大津間の整備区間への早期格上げなどに取り組んできました。これらの取り組みに加え、農業や福祉、教育など、生活の質が高い合志市実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

合併直後から準備を進めていました「合志市総合計画」は平成20年度から平成27年度までの8年の計画期間で、◎人々が安全に安心して暮らせるまちづくり◎緑豊かな環境と共生するまちづくり◎働く人々が輝き続けるまちづくり

◎みんな元気で笑顔あふれるまちづくりの4つの「政策」に24項目の「施策」を盛り込み、昨年の12月定例市議会に提案し承認をいただいたところです。この策定にあたりまして、総合政策審議会委員の方々やワークシヨップ、アンケート調査でご意見をいただきました多くの市民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

財政的には厳しい中ですが、これからも、「個性ある、市民の生活の質が高い合志市」未来輝く産業・定住拠点都市」の建設に向けて、最善を尽くす所存でありたい。市民の皆さまのご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

どうか、平成20年が皆さまにとりまして幸多き年でありませうとご祈念し、新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。皆さま方にはご家族おそろいで希望に満ちた新春を迎えられ謹んでお喜び申し上げます。

昨年は国内で能登半島沖地震、新潟中越沖地震や数多くの台風の上陸・接近があり、甚大な被害をもたらしました。幸い、本市におきましては、被害もなく穏やかな一年であったように思われます。

また、4月に合併後初の市議会議員選挙が行なわれ、24人の新しい議員が選出されました。合併して約2年、人口も5万4千人を超えました。しかし、人口は増加しているものの行財政運営は大変厳

しい状況です。そのような状況の中で議会としても行財政基盤の強化や少子高齢化への対応など、市政に意見、提言を行なっております。

国の財政事情は厳しい状態が続くなか、地方への権限の委譲、地方交付税の削減、高齢化社会に対する事業の取り組みなど国の負担軽減措置が実施されることで地方への負担が大きくなり、市町村は自己責任、自己決定を迫られ、経営体制の強化を図ることが急務となっております。

合志市の総合計画(基本構想)「未来輝く産業・定住拠点都市」子育て支援日本一のまちづくり」が昨年12月議会で可

決、20年度から新たな方針のもと、市民の皆さまが安全安心なそして安定的な生活ができることを念頭にまちづくりが始まります。

議会としても、市政運営に目をこらし、また、開かれた議会運営のもと、積極的な情報公開を進めながら、市民の皆さまの負託に応えるよう懸命に努力してまいります。平成20年が皆さまにとって、よかったと思える1年となりますようご祈念いたしますとともに、市政運営にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



合志市議会議長  
佐々木 博幸

## 安全安心 くらしやすいまちづくり